

2009年3月7日

薬物乱用防止に関する関西四大学学長共同声明

関西大学	学長	河田	悌一
関西学院大学	学長	杉原	左右一
同志社大学	学長	八田	英二
立命館大学	学長	川口	清史

近年、わが国において、若者による大麻等薬物の所持・使用・売買等の事件が頻発し、大きな社会問題となっています。とりわけ、大学生の大麻事件による逮捕者が急増しており、薬物が社会全体を侵食し、国公私立の別なく大学のキャンパス内にも広がりつつあります。

私たち関西四大学学長は、こうした事態に対し深い憂慮と強い危機感を共有しています。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、安心・安全な社会を実現することが大学として果たすべき責務と考えるからです。

私たちは、学生の規範意識を醸成するとともに、薬物乱用を防止するため、学生・教職員および社会に対して、恒常的・継続的かつ組織的な啓発活動を行っていく必要があると痛感しています。

今回、近隣諸大学とも連携し、また学外の関係諸機関の協力も仰ぎ、関西四大学の共同のアクションプランを推進します。薬物に関する学生の意識調査を実施し、一連の啓発プログラムを実行します。また、広く社会に向けて薬物乱用防止のための諸活動を展開します。

関西四大学は、理性と勇気を持ち、健全な判断力と行動力をもった人材を育成する必要性を改めて認識し、薬物乱用防止に向けて力をあわせ、今後とも積極的な取り組みを行うことをここに宣言します。

以上

アクションプラン

<関西四大学でのアクション>

◆アクション1……(委員会を設置・開催)

情報交換、ならびにアクションプランの具体化等を目的とする
「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催

◆アクション2……(教育・調査活動)

- 1) 学生参加によるポスター・リーフレットなど啓発資料の共同作成
- 2) 薬物に対する意識調査の共同実施
- 3) 大学教職員を対象とした講習会の共同開催

◆アクション3……(広報活動)

- 1) 共同作成したポスター・リーフレットなどの各大学での掲示・配布
- 2) 学生参加による各大学近辺の主要駅での街頭キャンペーン活動(ポスター掲示含む)
(例)JR 京都駅・大阪駅、阪急河原町駅・梅田など
- 3) 国連決議「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」にあわせ、各大学で学生参加によるキャンペーン活動
- 4) 学生・教職員をはじめ教育関係者・地域住民を対象とした講演会の開催

.....

<各大学それぞれで行なう主なアクション>

- 1) 大学行事(入学式・オリエンテーション・学園祭など)などでの啓発活動
- 2) キャンパス内での定期的な啓発活動
- 3) 海外留学時・留学生受け入れ時のガイダンスの徹底
- 4) 薬物にかかわる教育プログラムの導入の検討
- 5) 父母会や校友会など大学関係団体への啓発活動 など